

「医療福祉・在宅看取りの地域創造会議」 設立趣意書

1. 設立趣意

少子高齢化が著しい速さで進展しています。単身の高齢世帯が増加している中、とりわけ団塊の世代が75歳以上の高齢者となる15年後を見据え、誰もが地域で自分らしく暮らし続け、老いを迎え、平穏に死を迎える社会を創りたいと考えます。

このため、日常生活圏域における地域包括ケアの構築を目指して、医療福祉サービスの関係者や住民等の民間の主導により、市町・県の行政関係者も参画し、お互いに顔の見える関係をつくりながら、地域の支え合いの中で、高齢者や障害者など社会的に支援を必要とする人たちの包み込む滋賀モデルをみんなで推進することを目的として、「医療福祉・在宅看取りの地域創造会議」を設立します。

2. 活動

本会は、上記の設立趣意を踏まえ、次の活動を行います。

- (1) 県内各地域における地域包括ケアの構築・推進に関すること。
- (2) 医療福祉の専門職、NPO、県・市町の行政等の関係者相互の連絡及び協力の促進に関すること。
- (3) 県内各地域における医療福祉に関わる種々の「懇話会」との連携・協力に関すること。
- (4) 医療福祉滋賀モデルの実現に向けた自主的な取組目標の設定と実践の検証に関すること。